

令和6年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

指導	ねぎ栽培における小菌核病と白絹病の同時防除
【要約】夏ねぎ栽培において、小菌核病を対象とした茎葉散布を5月下旬～6月下旬頃まで約7～10日間隔で4回程度実施すると、小菌核病と白絹病の被害を同時に軽減できる。この期間中、シメコナゾール粒剤の株元散布も両病害に有効である。	

1 背景とねらい

夏ねぎ栽培で問題となる小菌核病は空気伝染性の病害である。一方、白絹病は土壌伝染性の病害である。この2種類の病害は伝染様式だけでなく、発生ピークも異なるため、同時に防除することは難しいと考えられていた。そこで、2病害のうち発生タイミングがより早い小菌核病の防除時期に、白絹病にも効果のある薬剤を散布することで、両病害の同時防除が可能かどうかを明らかにする。

2 内容

- (1) 小菌核病を対象とした茎葉散布を5月下旬～6月下旬頃まで約7～10日間隔で4回程度することで、白絹病の被害も同時に軽減できる。この期間中、シメコナゾール粒剤の株元散布も両病害に有効である（図1、図2）。
- (2) 小菌核病、白絹病に適用のある薬剤は表1のとおり。

表1 小菌核病、白絹病に適用のある薬剤（令和7年1月17日現在）。

種類名（商品名）	系統名	使用方法	希釈倍数・使用量	小菌核病	白絹病
チオファネートメチル水和剤（トップジンM水和剤）	MBC殺菌剤	散布	1,000倍	○	－
ペンチオピラド水和剤（アフエツフロアブル）	SDHI殺菌剤	散布	2,000倍	○	◎
ピラジフルミド水和剤（パレード20フロアブル）	SDHI殺菌剤	散布	2,000倍	○	◎
ピコキシストロビン水和剤（メジャーフロアブル）	Qol殺菌剤	散布	2,000倍	○	◎
シメコナゾール粒剤（モンガリット粒剤）	DMI殺菌剤	株元散布	6kg/10a	○	○

◎：効果が高い ○：効果がある －：適用なし（令和7年度農作物病害虫雑草防除に関する除指導資料より）

※白絹病との同時防除を実施する場合は白絹病に効果のある薬剤を選択する。

3 活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等 夏ねぎ産地のJA営農指導員、農業普及員
- (2) 期待する活用効果 夏ねぎで問題となる小菌核病、白絹病の防除計画を策定する際の参考となる

4 留意事項

- (1) 小菌核病の伝染源となる子実体は、平均気温15℃かつ多湿条件で子実のう盤が展開し子実の胞子の飛散が始まる（参考資料ア）。そのため、防除開始時期は、平均気温が15℃を越える5月下旬を目安とする。

表2 主な夏ねぎ指定産地における5月及び6月の旬別平均気温（℃）

	5月			6月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
雫石	12.1	13.5	15.6	17.0	18.2	19.3
盛岡	13.0	14.2	16.3	17.7	18.8	19.9
花巻	13.9	14.6	16.7	18.4	19.4	20.7
遠野	12.2	13.3	15.3	16.7	18.0	19.1

5 その他

- (1) 関連する試験研究課題
(402)新農薬の効果検定と防除技術資料作成[H9～R10/民間委託]
- (2) 参考資料及び文献等
ア 岩手県病害虫防除所(2009)病害虫防除技術情報 No. 20-3 ネギ小菌核病の診断のポイントと感染時期

6 試験成績の概要（具体的なデータ）

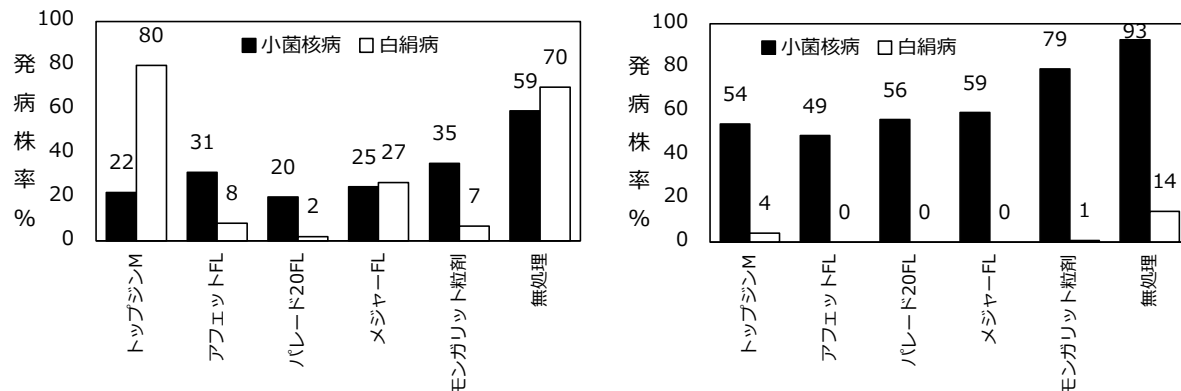


図1 ネギ小菌核病及び白絹病の現地試験結果（令和3年、左：花巻市、右：北上市）

試験概要）

左：花巻市現地ほ場、品種：夏扇4号、定植：4/2

右：北上市現地ほ場、品種：ホワイトスター、定植4/12

- ・トップジンM水和剤(1,000倍)、アフエットフロアブル(2,000倍)、パレード20フロアブル(2,000倍)、メジャーフロアブル(2,000倍)は5/25、6/2、6/9、6/16、6/24に茎葉散布(計5回)した※効果試験のため、使用回数は農薬使用基準と異なる点に注意。モンガリット粒剤は5/25、6/16に4kg/10a相当量を株元に散布し培土した。
- ・調査：7/15に各区50株について小菌核病と白絹病の発病率を調査した。

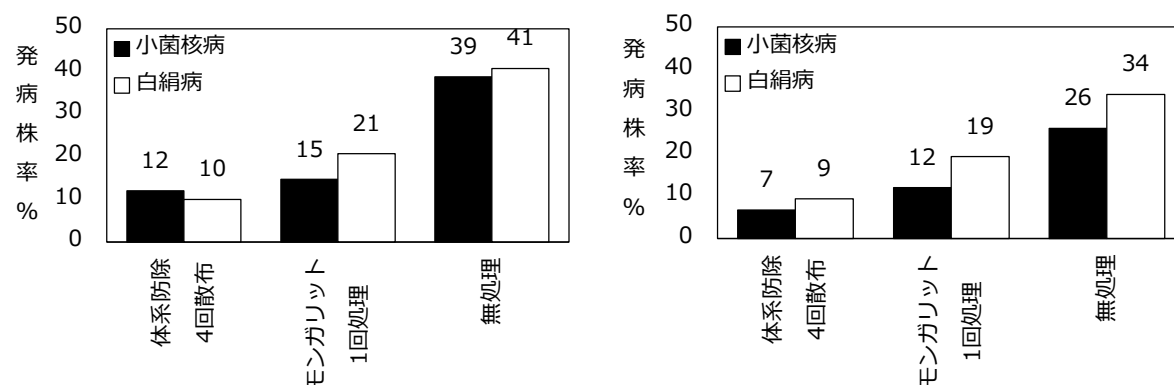


図2 ネギ小菌核病及び白絹病の防除試験結果（左：令和5年、右：令和6年、所内ほ場）

摘要）小菌核病を対象とした茎葉散布を5月下旬～6月下旬頃まで約7～10日間隔で4回程度すると、副次的に白絹病の被害も軽減できる。モンガリット粒剤の株元散布も両病害に有効である。

試験概要）

左：令和5年、農業研究センター所内ほ場、品種：夏扇パワー、定植：4/11

- ・体系防除4回散布：5/27 トップジンM水和剤※(1,000倍)、6/6 アフエットフロアブル(2,000倍)、6/17 メジャーフロアブル(2,000倍)、6/27 パレード20フロアブル(2,000倍)の4回茎葉散布 ※トップジンM水和剤は小菌核病にのみ適用がある。

- ・モンガリット1回処理：6/6にモンガリット粒剤6kg/10a相当量を株元に散布し培土した。

- ・調査：7/7に各区50株について小菌核病と白絹病の発病率を調査した。

右：令和6年、農業研究センター所内ほ場、品種：夏扇パワー、定植：4/8

- ・体系防除4回散布：5/24 トップジンM水和剤※(1,000倍)、6/4 アフエットフロアブル(2,000倍)、6/13 メジャーフロアブル(2,000倍)、6/21 パレード20フロアブル(2,000倍)の4回茎葉散布 ※トップジンM水和剤は小菌核病にのみ適用がある。

- ・モンガリット1回処理：6/4にモンガリット粒剤4kg/10a相当量を株元に散布し培土した。

- ・調査：各区50株について小菌核病(7/2)と白絹病(7/12)の発病率を調査した。

【担当】生産環境研究部 病理昆虫研究室